CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

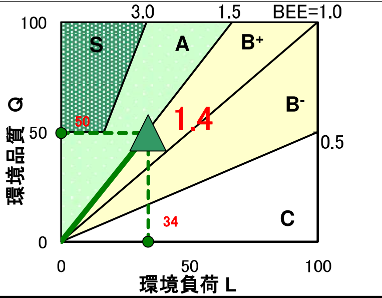
建物名称	エクセレントシティ千葉 THE RISE	階数	地上15F
建設地	千葉市中央区富士見二丁目10番1、10番10	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年7月5日
敷地面積	596 ㎡	作成者	宇津見 聡
建築面積	475 ㎡	確認日	2023年7月5日
延床面積	5,852 ㎡	確認者	宇津見 聡

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.4 ★★★

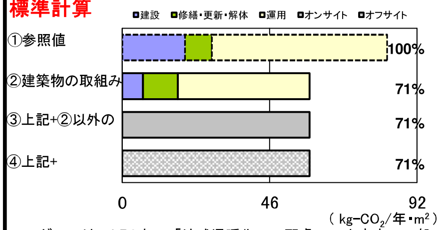
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

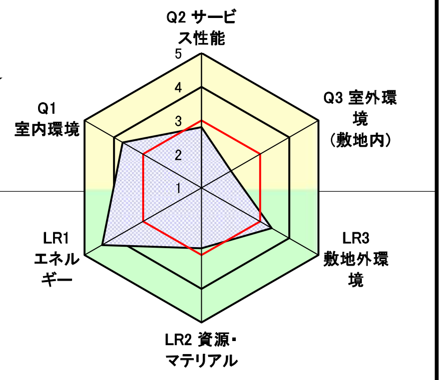
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

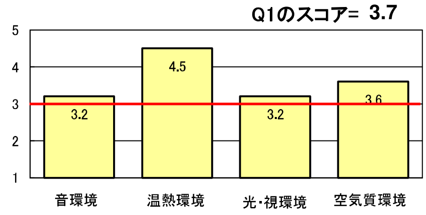
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



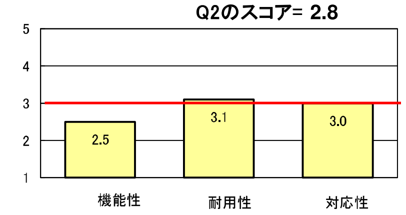
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.9

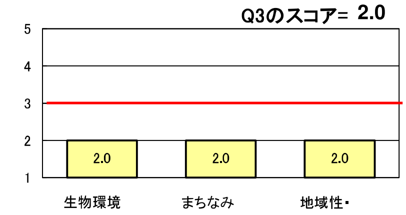
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.7



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.8

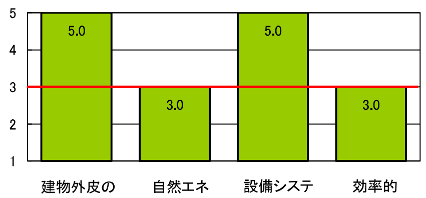


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.0

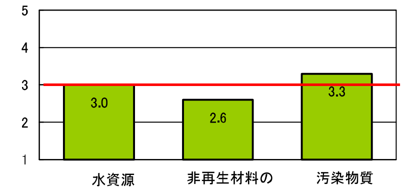


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.6

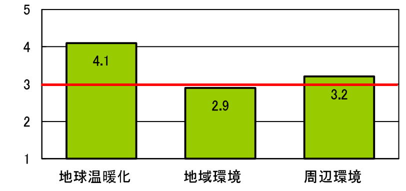
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.4



3 設計上の配慮事項

総合

国道やモノレール沿いの都会的な雰囲気に合わせ、ガラス面を多く確保したスタイリッシュなデザインの建物としています。また道路に面して緑地を設けたりエントランスホールの光が道路に漏れ出すような配置としており、街並みへの景観的配慮及び環境的配慮をしています。必要な建築設備関係はなるべく目立たない裏側や屋上に設けています。

その他

0

Q1 室内環境

専有部分について、断熱等性能等級4を超える性能としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。

Q2 サービス性能

住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりを持たせるなど、建物のサービス性能の向上に努めている。

Q3 室外環境（敷地内）

標準的な配慮を行っている。

LR1 エネルギー

断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.69としている。

LR2 資源・マテリアル

LGS下地やノンフロンの断熱材を採用している。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2排出率71%とし、光害抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される